「山形県多文化共生推進プラン(仮称)」の方向性について

山形県多文化共生推進プラン(仮称)

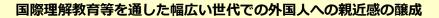
施策の柱1

国際交流・国際協力の推進

○姉妹友好都市や県人会との交流の推進 ○若者の国際理解の促進 ○国際理解教育・外国語教育の充実

など

人的交流を通した外国人との信頼構築





外国人材の受入・定着の促進

- ○受入企業等に対するサポート
- ○高度外国人材(留学生)の受入拡大・ 就職促進
- ○送出国・機関等との関係構築
- ○適正雇用、就労環境等の確保

外国人が安心して暮らせる環境整備の促進

施策の柱3

- ○一元的な相談体制の整備・充実
- ○日本語学習環境の整備促進 ★重点★
- ○くらしの環境整備の促進 ★重点★

など

施策の柱4

日本人と外国人の相互理解の促進

- ○地域住民との相互理解・交流の促進 ★重点★
- ○日本語学習環境の整備促進 ★重点★ ※再掲

など

目指す社会

日本人も外国人も、お互いを認め合い、

地域を構成する一員として共に活躍できる「やまがた共生社会」の実現



など

○計画の位置付け

第4次山形県総合発展計画(長期構想) (R2~概ね10年間) 次期 山形県総合発展計画実施計画 (R7~5年間)

分野別個別計画

山形県多文化共生推進プラン(仮称)